

# 第7期

# 相模原市中央区区民会議

# 活動報告書

(任期：令和4年7月30日～令和6年7月29日)



## 報告にあたって

第5、6期に続いて、第7期も会長を務めさせて頂きました。第5期では中央区基本計画を策定し、第6期では、この中央区基本計画を円滑かつ着実に進めていくため、市役所、企業、団体へ提案や申し入れを行う「発言する区民会議」の実現に向けて、取り組み始めました。しかし、第6期の2年間は、まさにコロナ禍の真っ只中となり、ほとんど活動できませんでした。第7期に入り、ようやくコロナ禍も鎮静化し、「発言する区民会議」として活動を開始しました。

今回は、中央区基本計画で定めている重点的な取組を踏まえ、第6期で重点行動として決定した6つの取組について、これまでと同様にグループワークの手法を活用し、3つのグループ（小委員会）で検討を進めました。「発言する」ためには、正しい状況認識とアイデアの創出が欠かせません。担当課からのヒアリングや、様々なステークホルダーからの意見聴取を行い、それらをベースにアイデアを創出し、提言書にまとめました。

第7期の成果となる本報告書は、その活動を記録しています。結論として、中央区基本計画で定めている重点的な取組「子育て支援」と「子どもの健全な育成環境の充実」は同じ提言書としてまとめ、相模原市を提言先として「子どもの居場所づくりに対する提言」を行いました。また、重点的な取組「地域ネットワークの充実」については、相模原市を提言先として「広報さがみはらに対する提言」を、重点的な取組「地域公共交通網の構築」については、相模原市と相模原市自治会連合会を提言先として「地域資源を活用した移動支援に対する提言」を、重点的な取組「都市の自然を次世代につなげるまちづくり」については、相模原市を提言先として「自然環境を守る提言」をそれぞれ行いました。なお、重点的な取組「相模原駅周辺地区におけるにぎわいの拠点作り」は、相模原駅北口地区のまちづくりや小田急多摩線の延伸などの影響を受ける取組であり、今後の見通し等まだまだ情報収集が必要ということで、提言には至りませんでした。

これらの提言については、提言先からその後の状況について諸々報告を受けており、中央区基本計画を円滑かつ着実に推進していることを実感できました。また、提言先からは、予算の編成や具体的な施策の実施に際して、区民会議からこうした提言や要望が出ているという理由で優先順位を上げることができたとも伺いました。微細な実績ではありますが、「発言する区民会議」の成果を感じています。

まだまだ、社会は、新しい働き方、新しいビジネス、新しい教育が生まれてきています。「多様性を大切に」し、ピンチをチャンスにする、相模原市中央区でありたいと思います。

最後に、委員はじめ、相模原市中央区役所区政策課、御協力頂いた皆様に、感謝して御礼申し上げます。

相模原市中央区区民会議 会長 飯島泰裕  
(青山学院大学教授)

## 目 次

1 区民会議	・ ・ ・ ・ ・	1
2 これまでの取組	・ ・ ・ ・ ・	1
3 第7期の取組	・ ・ ・ ・ ・	2
(1) 中央区区民会議の重点行動について	・ ・ ・ ・ ・	2
(2) 第7期中央区区民会議の取組み内容	・ ・ ・ ・ ・	2
(3) 重点行動に係る提言内容	・ ・ ・ ・ ・	4
4 審議経過等（概要）	・ ・ ・ ・ ・	8
5 第7期区民会議委員名簿	・ ・ ・ ・ ・	9
付録	・ ・ ・ ・ ・	10
重点行動に係る提言書		

## 1 区民会議

区民会議は、区の課題やまちづくりの方向性について協議を行う場として設置する、市の執行機関の附属機関（※1）です。人数は25人以内とし、区内のまちづくり会議から推薦された方、区内の公益的活動を行う団体から推薦された方、区内の住民（公募により選任）、学識経験のある方から構成しています。

### ※1 附属機関

附属機関は法律や条例に基づき設置されるもので、市民や専門家の意見を反映させるため、審査や調査を行う機関のこと。

## 2 これまでの取組

### 第1期（平成22年7月30日～平成24年7月29日）

区の将来像や協働によるまちづくりの指針となる「区ビジョン」（※2）の策定について市長から諮問を受け、中央区の特色や現況、課題を踏まえ、区民と行政が共に目指す将来像や、まちづくりの目標を審議し、答申を行いました。

### ※2 区ビジョン

区民と協働でまちづくりを進めるための指針として、「新・相模原市総合計画」を地域の視点で捉え直し、区の目指す将来像を明らかにしたうえで、その実現に向けて区民と行政がともに進めるまちづくりの基本的な方向性を示したものの。

### 第2期（平成24年7月30日～平成26年7月29日）

第2期では、区ビジョンに定めた「地域資源を生かし、魅力ある中央区を創出する」という基本方針に焦点を当て、中央区らしい地域資源を再発見するとともに、それらを「つなぐ」取組について議論し、中央区らしい魅力を創造する提案をとりまとめました。

### 第3期（平成26年7月30日～平成28年7月29日）

第3期では、より幅広く区民と意見交換を行う「中央区拡大区民会議」を開催し、「区民や地域の連携・協力による魅力あるまちづくりに向けて」、「若い世代の地域活動、まちづくりへの参加について」をテーマに、区内の高校生・大学生・子育て世代の区民が参加し、区民が主体となり地域資源を「つなぐ」ために必要な方策や、若い世代の地域参加について議論し、報告書としてまとめました。

#### **第4期（平成28年7月30日～平成30年7月29日）**

第4期では、令和2年度から計画期間が始まる中央区基本計画の策定に向け、区ビジョンに掲げた行政の取組の実施状況の確認と区民の取組について検証し、報告書としてまとめました。

#### **第5期（平成30年7月30日～令和2年7月29日）**

第5期では、中央区基本計画の策定についての諮問を受け、中央区の現状と課題を踏まえつつ、将来のポテンシャルと「多様性」を活かした中央区の目指す姿を実現するための取組について議論を重ね、最終的に計画の答申としてとりまとめました。

#### **第6期（令和2年7月30日～令和4年7月29日）**

第6期では、中央区基本計画に掲げた目指す姿・取組目標を実現するため、「発言する区民会議」として取組主体への働きかけ（＝重点行動）を行うこととし、中央区基本計画で定めている中でも早期に着手していくべき重点的な取組と、取組に対する重点行動を決定しました。

### **3 第7期の取組（令和4年7月30日～令和6年7月29日）**

#### **（1）中央区区民会議の重点行動について**

中央区基本計画に掲げた目指す姿・取組目標を実現するため、第6期の取組を引継ぎ、第6期で決定した6つの重点行動について、具体的な取組内容・取組主体の検討を行い、「発言する区民会議」として働きかけを行うこととしました。

具体的な取組内容・取組主体の検討については、より深い議論とするため、第6期と同様にグループ（小委員会）を設置しました。設置した3つのグループでは、1グループで2つの重点行動を担当し、グループワーク形式で議論を重ね、提言書にまとめ、相模原市長等に対して提言を行いました。

#### **（2）第7期中央区区民会議の取組み内容**

次頁に掲げた図のとおり取り組みました。

## (2) 第7期中央区区民会議の取組み内容

### 中央区基本計画

### 中央区の目指す姿



～多様性を大切にすまちなちを目指して～

#### 中央区の目指す姿・取組目標Ⅰ 健やかに育ち、共に学び、共に高め合っている

取組の方向

- I-1 子どもが伸び伸びと成長できるよう取り組みます **【子育て、教育】**
- I-2 誰もが学びを楽しめるよう取り組みます **【生涯学習、社会教育】**



#### 中央区の目指す姿・取組目標Ⅳ 魅力と活力にあふれ、にぎわっている

取組の方向

- IV-1 人が集い、にぎわいがあふれるよう取り組みます **【商業、観光、農業】**
- IV-2 暮らしやすさが未来へつながるよう取り組みます **【基地返還、拠点形成、道路、交通】**
- IV-3 誰もが桜やJAXA、大学など地域の魅力を語れるよう取り組みます **【文化、スポーツ、国際化】**



#### 中央区の目指す姿・取組目標Ⅱ 自分らしく、いきいきと暮らしている

取組の方向

- II-1 全ての人がいきいきと暮らせるよう取り組みます **【福祉、高齢者、貧困】**
- II-2 多様な人々が自分らしく活躍できるよう取り組みます **【人権・男女、障害者、国際化】**
- II-3 健康長寿に取り組みます **【健康、医療】**



#### 中央区の目指す姿・取組目標Ⅴ 豊かな環境をつくり、次世代へつないでいる

取組の方向

- V-1 生物多様性を保全し、都市の自然がつながるよう取り組みます **【環境保全、都市緑化、生物多様性】**
- V-2 環境に配慮したライフスタイルへの転換に取り組みます **【地球温暖化、廃棄物】**



#### 中央区の目指す姿・取組目標Ⅲ 安全・安心をみんなで創っている

取組の方向

- III-1 一人ひとりが災害に備えるよう取り組みます **【防災】**
- III-2 事故や犯罪ゼロを目標に取り組みます **【交通安全、防犯、空き家】**



#### 中央区の目指す姿・取組目標Ⅵ わたしも、あなたも、誰もが輝いている

取組の方向

- VI-1 全ての区民が連携・協働できるよう取り組みます **【参加・協働、区政（分権）】**
- VI-2 新しい発想を活かし、持続可能なまちづくりに取り組みます **【行政サービス、広聴広報、公共施設マネジメント】**



目指す姿・取組目標を実現するため、早期に着手していきべき6つの取組を **重点行動** として決定【第6期】

市や関係団体等へ提言【第7期】

#### ◆取組の方向Ⅰ-1

- ①重点的な取組：「子育て支援」  
重点行動：子どもに学習の場を提供する【協働】

- ②重点的な取組：「子どもの健全な育成環境の充実」  
重点行動：学習・相談ボランティアの養成講座や仕組みづくりを行う【協働】

#### ◆取組の方向Ⅱ-1

- ③重点的な取組：「地域ネットワークの充実」  
重点行動：広報のあり方を検討する  
全戸配布だと費用がかかるので、区民全体に情報が届くような方法を考える【協働】

#### ◆取組の方向Ⅳ-2

- ④重点的な取組：「相模原駅周辺地区におけるにぎわいの拠点づくり」
- ⑤重点的な取組：「地域公共交通網の構築」  
重点行動：買物支援に対する実験的取組の検討と実施(実施：相乗り・買物配達など)【協働】

#### ◆取組の方向Ⅴ-1

- ⑥重点的な取組：「都市の自然を次世代につなげるまちづくり」  
重点行動：温暖化防止の講座や環境を守る暮らし方講座などをNPO法人等と連携して地域で開催する【協働】

小委員会で検討

市

子どもの居場所づくり  
に対する提言

市

広報さがみはらに対する提言

市

市自治会  
連合会

地域資源を活用した移動支援  
に対する提言

市

自然環境を守る取組  
に対する提言

### (3) 重点行動に係る提言内容

中央区基本計画に掲げた目指す姿・取組目標を実現するため、各グループで重点行動に係る働きかけの具体的な内容を検討し、提言書として取りまとめ、「発言する区民会議」として、市や関係団体に対して提言を行いました。

#### ◆取組の方向 I - 1

##### ①重点的な取組:「子育て支援」

重点行動:子どもに学習の場を提供する【協働】

##### ②重点的な取組:「子どもの健全な育成環境の充実」

重点行動:学習・相談ボランティアの養成講座や仕組みづくりを行う【協働】

提言先:相模原市

提言:子どもの居場所づくりに対する提言

提言内容:「子どもの居場所」の一つとして、地域やNPOによる「子ども食堂」や「無料学習支援」が運営されており、今後、「子ども食堂」及び「無料学習支援」の活動を充実させていくため、次の事項を提言。

- 1 包括連携協定を締結している大学等に対し、学生ボランティアの働きかけを行うとともに、学生ボランティアが継続的に活動できる受入体制を構築する。
- 2 ボランティアを始めたいと考えている人へのサポートを更に充実する。
- 3 既存団体が抱える個々の課題を積極的に聴取し、支援体制を拡充する。
- 4 「子どもの居場所づくり」に関する情報や市の支援・取組について、情報発信を更に推進する。



## ◆取組の方向Ⅱ-1

### ③重点的な取組:「地域ネットワークの充実」

重点行動: 広報のあり方を検討する

全戸配布だと費用がかかるので、区民全体に

情報が届くような方法を考える【協働】

提言先: 相模原市

提言: 広報さがみはらに対する提言

提言内容: 「広報さがみはら」を電子媒体等で取得する方法を記載したチラシの配布や掲示等による周知を強化することにより、広報紙媒体の電子化を促進するとともに、区民に広く情報を伝えるため、次の事項を提言。

- 1 単位自治会の掲示板に周知チラシを掲示する。
- 2 自治会加入世帯に周知チラシを全戸配布又は回覧する。
- 3 地域情報紙に周知チラシ同様の内容を掲載する。
- 4 自治会未加入のマンション掲示板にも、できる限り周知チラシを掲示する。
- 5 市内にある大学等の学生にも、できる限り周知する。



## ◆取組の方向Ⅳ-2

### ④重点的な取組:「相模原駅周辺地区におけるにぎわいの拠点づくり」

当該取組については、相模原駅北口地区のまちづくりや小田急多摩線の延伸等の影響を大きく受ける事業であるため、今期の中央区区民会議においては、小田急多摩線の延伸に向けた取組について、相模原市から情報提供を受け、今後も適宜、情報収集を行っていくこととしました。



## ◆取組の方向Ⅳ-2

### ⑤重点的な取組:「地域公共交通網の構築」

重点行動:買物支援に対する実験的取組の検討と実施  
(実施:相乗り・買物配達など)【協働】

提言先:相模原市、相模原市自治会連合会

提言:地域資源を活用した移動支援に対する提言

提言内容:高齢者世帯などが増加しているなかで、移動手段の確保が各地域の重要な課題の一つとなっており、地域の移動手段を取り巻く環境の改善に繋げるとともに、高齢者の生きがいや健康寿命の延伸に繋げるため、地域資源を活用した移動支援について、相模原市自治会連合会及び相模原市に次の事項を提言。

#### 1 相模原市自治会連合会に対する提言

地域資源(青色パトロールカー及び社会福祉法人所有の車両等)を活用した移動支援について、活動経費の助成などを行う市の支援制度である「地域おでかけサポート推進事業」などを活用した事業の検討を、相模原市自治会連合会から各地区自治会連合会及び単位自治会へ促す。

#### 2 相模原市に対する提言

相模原市から各地区自治会連合会及び単位自治会並びに各地区まちづくり会議等に対して、「地域おでかけサポート推進事業」や先行事例等の情報提供を更に推進する。また、移動支援の事業を実施する際の課題に対して、必要に応じて支援及び助言する機会を更に充実する。



## ◆取組の方向Ⅱ-1

### ⑥重点的な取組:「都市の自然を次世代につなげるまちづくり」

重点行動:温暖化防止の講座や環境を守る暮らし方講座などを  
NPO法人等と連携して地域で開催する【協働】

提言先:相模原市

提言:自然環境を守る取組に対する提言

提言内容:豊かな自然環境と多様な都市環境を併せ持つ相模原市において、今ある身近なみどりや生物多様性を保全し、都市の自然を次世代へ繋げていくことが大変重要であり、自然環境に対する市民の意識を高め、自分事として捉えられるよう、次の事項を提言。

- 1 自然環境の現状やその大切さを知り、個人や地域が主体的に身近なみどりや生物多様性を保全する活動に繋がられるよう、学習講座や普及啓発活動等を身近な会場で実施することを検討する。
- 2 自然環境に関する普及啓発の強化及び学習講座やイベントへの参加者を増やすため、自然環境に関する啓発及び学習講座等の情報を集約して発信することや、発信方法を工夫する等、情報発信に係る取組を更に推進する。



#### 4 審議経過等（概要）

回次・開催日等	主な内容
第1回（通算60回） 令和4年8月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長、副会長の選出</li> <li>・第6期までの取組と今後の審議事項について</li> </ul>
第2回（通算61回） 令和4年10月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央区区民会議重点行動の検討について</li> <li>検討取組①「子育て支援」</li> <li>検討取組②「子どもの健全な育成環境の充実」</li> <li>検討取組③「地域ネットワークの充実」</li> <li>検討取組④「相模原駅周辺地区におけるにぎわいの拠点づくり」</li> <li>検討取組⑤「地域公共交通網の構築」</li> <li>検討取組⑥「都市の自然を次世代につなげるまちづくり」</li> <li>※小委員会の開催</li> </ul>
第3回（通算62回） 令和4年12月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央区区民会議重点行動の検討について</li> <li>※小委員会の開催</li> </ul>
第4回（通算63回） 令和5年2月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央区区民会議重点行動の検討について</li> <li>※小委員会の開催</li> </ul>
第5回（通算64回） 令和5年6月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央区区民会議重点行動の検討について</li> <li>※小委員会の開催</li> </ul>
第6回（通算65回） 令和5年8月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央区区民会議重点行動の検討について</li> <li>※小委員会の開催のみ</li> </ul>
第7回（通算66回） 令和5年10月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提言書の取扱いについて</li> <li>・広報さがみはらに対する提言書（案）について</li> <li>・中央区区民会議重点行動の検討について</li> <li>※小委員会の開催</li> </ul>
第8回（通算67回） 令和5年12月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を活用した移動支援に対する提言書（案）について</li> <li>・中央区区民会議重点行動の検討について</li> <li>※小委員会開催</li> </ul>
第9回（通算68回） 令和6年2月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を活用した移動支援に対する提言書（案）について</li> <li>・中央区区民会議重点行動の検討について</li> <li>※小委員会開催</li> </ul>
第10回（通算69回） 令和6年5月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの居場所づくりに対する提言書（案）について</li> <li>・中央区区民会議重点行動の検討について</li> <li>※小委員会開催</li> </ul>
第11回（通算70回） 令和6年7月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境を守る取組に対する提言書（案）について</li> <li>・第7期相模原市中央区区民会議 活動報告書（案）について</li> </ul>

## 5 第7期区民会議委員名簿

分野	選出母体等	氏名	検討 グループ	備考
まちづくり 会議	小山地区まちづくり会議	安藤孝洋	2	第1～4回
		入谷利郎	2	第5回～
	清新地区まちづくり会議	丹波晴道	3	
	横山地区まちづくり会議	末永暁子	2	
	中央地区まちづくり会議	鈴木泰信	2	
	星が丘地区まちづくり会議	八木鉄雄	1	
	光が丘地区まちづくり会議	割柏秀規	1	
	大野北地区まちづくり会議	山口信郎	3	
	田名地区まちづくり会議	代田修	3	
上溝地区まちづくり会議	小林充明	2	副会長	
公益的 活動団体	相模原市PTA連絡協議会	酒井志保	1	
	相模原市私立保育園・認定こども園園長会	清水洋子	1	
	相模原市公民館連絡協議会	小川紳夫	1	
	相模原市地区社会福祉協議会中央区連絡会	坂本洋三	3	
	相模原市民生委員児童委員協議会	飯塚芳雄	2	第1～3回
		桑水流良光	2	第4回～
	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら	加賀谷育子	1	
	一般社団法人相模原市医師会	原田克也	3	
	相模原交通安全協会	田所豊	2	
	公益社団法人相模原市観光協会	水谷好男	2	
	相模原商工会議所	中村太郎	2	
	公益社団法人相模原青年会議所	八木貴弘	3	
特定非営利活動法人 and Advance	斎藤奈美	3		
学識 経験者	青山学院大学	飯島泰裕		会長
区内の 住民	公募委員	高橋采花	1	
	公募委員	森田麻里子	3	
	公募委員	横山志穂	2	

# 付録

## 重点行動に係る提言書

取組の方向	I-1「子どもが伸び伸びと成長できるよう取り組みます」
重点的な取組	「子育て支援」「子どもの健全な育成環境の充実」
検討グループ	グループ1

### 子どもの居場所づくりに対する提言書

「子どもの居場所」の一つとして、地域やNPOによる「子ども食堂」や「無料学習支援」が運営されておりますが、今後、「子ども食堂」及び「無料学習支援」の活動を充実させていくために、次の事項について実施していただきたく提言いたします。

- 1 包括連携協定を締結している大学等に対し、学生ボランティアの働きかけを行うとともに、学生ボランティアが継続的に活動できる受入体制を構築する。
- 2 ボランティアを始めたいと考えている人へのサポートを更に充実する。
- 3 既存団体が抱える個々の課題を積極的に聴取し、支援体制を拡充する。
- 4 「子どもの居場所づくり」に関する情報や市の支援・取組について、情報発信を更に推進する。

中央区区民会議は、第7期において中央区基本計画に掲げた目指す姿・取組目標を実現するため、「発言する区民会議」として市及び関係団体に対して、提言活動等を実施しております。その活動の一つとして、子どもの居場所の一つである「子ども食堂」と「無料学習支援」について議論をしてみました。

「子ども食堂」や「無料学習支援」を立ち上げた後、担い手（ボランティア）の不足により運営が成り立たなくなる事例があります。子どもたちが気軽に参加できる場の充実を図るためには、年齢が近い学生のボランティアが必要です。さらに、子どもたちが学習意欲を持つきっかけに繋がる学習支援も学生には期待できます。

そして、ボランティアを始めたいと考えている人の中には、自分でも担えるかと不安を持ち、なかなか踏み込めない方がいます。ボランティアを増やすためには、そのような方へ、必要に応じてサポートを行うことも重要であると考えます。

また、総合相談窓口が設置されていますが、既存団体が抱える個々の課題に対しては、個別に聞き取りや状況確認を行うなど、より相談しやすい環境と支援する体制が必要と考えます。

既存団体が安定した運営ができるよう支援をすることは、新たな団体の立ち上げにも繋がり、子どもの居場所が充実することから、提言させていただきます。

令和6年7月5日

相模原市長 本村 賢太郎 殿

中央区区民会議  
会長 飯島 泰裕

取組の方向	Ⅱ－１「全ての人がいきいきと暮らせるよう取り組みます」
重点的な取組	「地域ネットワークの充実」
検討グループ	グループ3

### 広報さがみはらに対する提言書

「広報さがみはら」を電子媒体等で取得する方法を記載したチラシ（以下「周知チラシ」という。）の配布や掲示等による周知を強化することにより、広報紙媒体の電子化を促進するとともに、区民に広く情報を伝えるため、次の事項について実施していただきたく提言いたします。

- 1 単位自治会の掲示板に周知チラシを掲示する。
- 2 自治会加入世帯に周知チラシを全戸配布又は回覧する。
- 3 地域情報紙に周知チラシ同様の内容を掲載する。
- 4 自治会未加入のマンション掲示板にも、できる限り周知チラシを掲示する。
- 5 市内にある大学等の学生にも、できる限り周知する。

中央区区民会議は、第7期において中央区基本計画に掲げた目指す姿・取組目標を実現するため、「発言する区民会議」として市及び関係団体に対して、提言活動等を実施しております。その活動の1つとして、市の情報源である「広報さがみはら」が区民（市民）全体に届く方法について議論してまいりました。

現在、「広報さがみはら」は、新聞折り込み等により配布されておりますが、インターネットの普及など社会様式の変化により新聞購読者が減少し、現在の配布方法では届かない区民が多くなっております。新聞折り込み以外では、一部鉄道駅、コンビニエンスストア、公共施設等への配架や、ホームページ、専用アプリ、LINE等による提供が行われておりますが、これらの取得方法が浸透しておらず、特に電子媒体での取得方法については、周知が不足している状況であるため、提言させていただくものです。

令和5年12月27日

相模原市長 本村 賢太郎 殿

中央区区民会議  
会長 飯島 泰裕

取組の方向	Ⅳ－２「暮らしやすさが未来へつながるよう取り組みます」
重点的な取組	「地域公共交通網の構築」
検討グループ	グループ２

### 地域資源を活用した移動支援に対する提言書

高齢者世帯などが増加しているなかで、移動手段の確保が各地域の重要な課題の一つとなっています。地域の移動手段を取り巻く環境の改善に繋がるとともに、高齢者の生きがいや健康寿命の延伸に繋げるため、地域資源を活用した移動支援について、相模原市自治会連合会及び相模原市に次の事項を提言させていただきます。

#### 1 相模原市自治会連合会に対する提言

地域資源（青色パトロールカー及び社会福祉法人所有の車両等）を活用した移動支援について、活動経費の助成などを行う市の支援制度である「地域おでかけサポート推進事業」などを活用した事業の検討を、相模原市自治会連合会から各地区自治会連合会及び単位自治会へ促す。

#### 2 相模原市に対する提言

相模原市から各地区自治会連合会及び単位自治会並びに各地区まちづくり会議等に対して、「地域おでかけサポート推進事業」や先行事例等の情報提供を更に推進する。また、移動支援の事業を実施する際の課題に対して、必要に応じて支援及び助言する機会を更に充実する。

中央区区民会議は、第7期において中央区基本計画に掲げた目指す姿・取組目標を実現するため、「発言する区民会議」として市及び関係団体に対して、提言活動等を実施しております。その活動の一つとして、地域資源を活用した移動支援について議論や先行事例の調査などをしてまいりました。

先行事例として、中央区内では、買い物が困難な人に対して社会福祉法人が提供した福祉車両を活用して商業施設等へ送迎する取組があります。また、他市では、買い物や通院などに対して青色パトロールカーを活用して移動支援を行っている事例もあります。このように地域内において生活に必要な外出に対して地域が主体となって移動支援を行っていくことが、地域による移動支援（共助）の目指す姿であるため、地域資源を活用した移動支援について提言させていただくものです。

令和6年3月27日

相模原市自治会連合会会長 竹田 幹夫 殿

相模原市長 本村 賢太郎 殿

中央区区民会議  
会長 飯島 泰裕



取組の方向	V-1 「生物多様性を保全し、都市の自然がつながるよう取り組みます」
重点的な取組	「都市の自然を次世代につなげるまちづくり」
検討グループ	グループ3

### 自然環境を守る取組に対する提言書

豊かな自然環境と多様な都市環境を併せ持つ相模原市において、今ある身近なみどりや生物多様性を保全し、都市の自然を次世代へ繋げていくことが大変重要です。自然環境に対する市民の意識を高め、自分事として捉えられるよう、次の事項を提言させていただきます。

- 1 自然環境の現状やその大切さを知り、個人や地域が主体的に身近なみどりや生物多様性を保全する活動に繋がられるよう、学習講座や普及啓発活動を身近な会場で実施することを検討する。
- 2 自然環境に関する普及啓発の強化及び学習講座やイベントへの参加者を増やすため、自然環境に関する啓発及び学習講座等の情報を集約して発信することや、発信方法を工夫する等、情報発信に係る取組を更に推進する。

中央区区民会議は、第7期において中央区基本計画に掲げた目指す姿・取組目標を実現するため、「発言する区民会議」として市及び関係団体に対して、提言活動等を実施しております。その活動の1つとして、都市の自然を次世代につなげるまちづくりについて、議論してまいりました。

現在、さがみはら環境まつりやさがみはら生物多様性シンポジウムなどの全市民的なイベントのほか、市内の森林や公園、エコパークさがみはら等での体験会や講座等が開催されており、それぞれ内容も充実したものであると認識しております。

自然環境に対する市民の意識を高めるためには、関心のある人だけでなく、子どもから大人まで、多様な人が関心を持ち、気軽に参加できる取組が必要です。そのため、身近な会場で自然環境に関する学習講座や普及啓発活動等を実施することで、普段の暮らしの中で自然環境を守る意識を持ち、個人や地域が主体となって、身近なみどりや生物多様性を保全する活動へと繋がるきっかけとなるよう、提言させていただくものです。

令和6年7月29日

相模原市長 本村 賢太郎 殿

中央区区民会議  
会長 飯島 泰裕

第7期

相模原市中央区区民会議 活動報告書

発行 令和6年7月

相模原市中央区区民会議

編集 相模原市中央区役所区政策課

相模原市中央区中央2-11-15

電話 042-769-9802